

第 38 回 文教大学英語教育研究会のお知らせ

これからの英語教育を考えるシンポジウム 2025

現状をどう改革するか—SLA の視点から

学習指導要領の改訂を踏まえ、様々な英語教育改革が行われていますが、まだまだ日本の英語教育は道半ばと言えます。将来を担う子供たちの英語によるコミュニケーション能力を育て、国際社会で活躍する土台を作り、よりよい人生を送ってもらうための英語教育について、第二言語習得研究の第一人者であるケースウェスタンリザーブ大学の白井恭弘教授を迎えて議論します。小学校・中学校・高等学校でどのような英語の授業を行ったらいいいのか、教科書にはどのようなことが求められるのか、そしてどのように大学の教職課程で英語教員養成を行い、どのような現職教員研修を行ったらいのかを提案していきます。

現職英語教員のみなさま、英語教育にかかわる全てのみなさま、そして英語教員を目指す学生も交えて、熱く英語教育を語る時間としたいと考えています。会場にお越しのみなさまからも、ご質問はもちろん、実践例などをご紹介いただけたらと思います。参加費は無料、参加申し込みは必要ありません。当日会場まで直接お越しください。たくさんの方のみなさまの参加をお待ちしています。

日時：令和 7 年 8 月 17 日（日）14：00～16：00

14：00～シンポジウム、15：30～フロアーとの意見交流

場所：文教大学東京あだちキャンパス 教育研究棟北棟 1 階 2103 教室

主催：文教大学英語教育研究会、国際学部語学教育委員会

共催：国際学部教職課程運営委員会、文教大学教職支援連携センター

<登壇者>

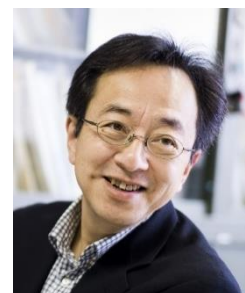
白井 恭弘教授（ケースウェスタンリザーブ大学認知科学科教授）

専門は言語学、言語習得論。主な著書に『外国語学習の科学』『ことばの力学』（共に岩波新書）、『英語教師のための第二言語習得論入門』（大修館書店）、『外国語学習に成功する人、しない人』（岩波科学ライブラリー）など



阿野 幸一教授（文教大学国際学部国際理解学科教授）

専門は英語教育。主な著書に検定教科書『NEW HORIZON English Course』（東京書籍）、『これからの英語授業にひと工夫』（大修館書店）、『英語が聞ける！話せる！単語力・文法力が身につく！6 ステップ音読』（NHK 出版）など



<司会>

桐井 誠氏（文教大学教職支援連携センター特務教員）

専門は英語教育。長野県公立中学校英語科教諭、指導主事、教頭を経て現職。